

令和 5 年 度

財政事情と主要な施策の成果

魚沼地区障害福祉組合

目 次

第 1	組合会計の状況	1
1	決算の概要	1
(1)	決算収支	1
(2)	決算額の推移	2
(3)	歳入の状況	3
ア	歳入科目別内訳	3
イ	負担金及び県支出金の内訳	4
ウ	諸収入の内訳	5
(4)	歳出科目別内訳	6
(5)	年度別の主な請負工事と購入備品	7
(6)	組合費及び繰越金の推移	8
(7)	基金積立金の状況	9
(8)	地方債現在高の状況	9
(9)	決算の特徴	10
第 2	業務の概要と成果	12
1	入所児童・利用者の概況（令和 6 年 3 月 31 日現在）	12
2	短期入所事業・日中一時支援事業の状況	14
3	職員の状況	15
4	施設運営・支援の概要	15
5	今後の課題	16

第1 魚沼地区障害福祉組合会計の状況

1 決算の概要

(1) 決算収支

魚沼地区障害福祉組合会計の決算額

歳入 408,764千円（令和4年度 463,581千円）

歳出 390,235千円（令和4年度 454,391千円）

前年度に比べて歳入歳出は次のようになりました。

歳入 54,817千円減（11.8%減）

歳出 64,156千円減（14.1%減）

形式収支

令和5年度の形式収支（歳入歳出差引額）は、18,529千円となりました。
（令和4年度 9,190千円）

実質収支

令和5年度の実質収支（形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額）は、18,529千円となりました。
（令和4年度 9,190千円）

単年度収支

実質収支18,529千円から、前年度実質収支9,190千円を差し引いた単年度収支額は、9,339千円となりました。
（令和4年度 ▲15,470千円）

実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金積立金10,490千円を加え、これから当該年度において取り崩した財政調整基金繰入金26,300千円を差し引いた実質単年度収支額は、▲6,471千円となりました。
（令和4年度 ▲30,469千円）

(2) 決算額の推移

(単位：千円)

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	前 年 度 比 較	決 算 額	前 年 度 比 較
平 成 27年度	789,288	51,197	787,880	111,355
平 成 28年度	305,051	▲ 484,237	278,313	▲ 509,567
平 成 29年度	325,817	20,766	286,632	8,319
平 成 30年度	363,222	37,405	317,422	30,790
令 和 元年度	395,560	32,338	369,507	52,085
令 和 2年度	424,937	29,377	384,430	14,923
令 和 3年度	413,300	▲ 11,637	388,640	4,210
令 和 4年度	463,581	50,281	454,391	65,751
令 和 5年度	408,764	▲ 54,817	390,235	▲ 64,156

(3) 歳入の状況

ア 歳入科目別内訳

(単位：千円)

区		分	令和５年度	令和４年度	増 減	
分 担 金 及 び			306,812	313,134	▲ 6,322	
負 担 金	市 町 分 担 金	経 常 費 分 担 金	60,000	60,000	0	
		施 設 整 備 費 分 担 金	39,827	39,891	▲ 64	
	負担金		206,985	213,243	▲ 6,258	
		児童福祉費		15,302	13,822	1,480
			市 町 居 宅 生 活 給 付 費	11,828	10,686	1,142
			障 害 児 童 施 設 利 用 者 負 担 金	1,759	1,510	249
			居 宅 生 活 支 援 利 用 者 負 担 金	1,715	1,626	89
			社会福祉費		191,683	199,421
		市 町 施 設 入 所 支 援 介 護 給 付 費		162,917	168,807	▲ 5,890
		市 町 居 宅 生 活 支 援 費		10,307	10,717	▲ 410
		施 設 支 援 介 護 利 用 者 負 担 金		18,000	19,449	▲ 1,449
		居 宅 生 活 支 援 費 利 用 者 負 担 金		459	448	11
		県 支 出 金			55,125	50,204
	県補助金	0	1,013	▲ 1,013		
	県委託金	児 童 福 祉 費 委 託 金	10,108	7,065	3,043	
	施設給付金	障 害 児 施 設 給 付 金	45,017	42,126	2,891	
財 産 収 入	基金及び積立金	25	27	▲ 2		
寄 附 金	寄 附 金	106	90	16		
繰 入 金	基 金 繰 入 金	36,910	74,950	▲ 38,040		
繰 越 金	前年度繰越金	9,190	24,660	▲ 15,470		
諸 収 入		596	516	80		
	雑 入	596	516	80		
組 合 債	組 合 債	0	0	0		
歳 入 合 計			408,764	463,581	▲ 54,817	

イ 負担金及び県支出金の内訳

(単位:千円)

区 分				比 較			魚 沼 学 園			魚 沼 更 生 園			合 計			
				令和5年度	令和4年度	増 減	令和5年度	令和4年度	増 減	令和5年度	令和4年度	増 減				
負 担 金	学 園	市町障害児施設入所給付費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		市 町 居 宅 生 活 給 付 費	11,828	10,686	1,142	0	0	0	11,828	10,686	1,142	0	0	0		
		障害児童施設利用者負担金	1,759	1,510	249	0	0	0	1,759	1,510	249	0	0	0		
		居宅生活支援利用者負担金	1,715	1,626	89	0	0	0	1,715	1,626	89	0	0	0		
		小 計	15,302	13,822	1,480	0	0	0	15,302	13,822	1,480	0	0	0		
	更 生 園	市町施設入所支援介護給付費	0	0	0	162,917	168,807	▲ 5,890	162,917	168,807	▲ 5,890	0	0	0		
		市 町 居 宅 生 活 支 援 費	0	0	0	10,307	10,717	▲ 410	10,307	10,717	▲ 410	0	0	0		
		施設支援介護利用者負担金	0	0	0	18,000	19,449	▲ 1,449	18,000	19,449	▲ 1,449	0	0	0		
		居宅生活支援費利用者負担金	0	0	0	459	448	11	459	448	11	0	0	0		
		小 計	0	0	0	191,683	199,421	▲ 7,738	191,683	199,421	▲ 7,738	0	0	0		
	計		15,302	13,822	1,480	191,683	199,421	▲ 7,738	206,985	213,243	▲ 6,258	0	0	0		
県 委 託 金	管 理 委 託 基 準 に よ る 事 務 費	6,984	5,607	1,377	0	0	0	6,984	5,607	1,377	0	0	0			
		重 度 指 定 加 算	25%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		30%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	重 度 重 複 障 害 児 加 算 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	被 虐 待 児 受 入 加 算 費	408	0	408	0	0	0	408	0	408	0	0	0			
	生 活 諸 費	1,182	994	188	0	0	0	1,182	994	188	0	0	0			
	教 育 費	27	27	0	0	0	0	27	27	0	0	0	0			
	高 等 部 進 学 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	見 学 旅 行 費	17	0	17	0	0	0	17	0	17	0	0	0			
	入 進 学 支 度 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	学 校 給 食 費	53	51	2	0	0	0	53	51	2	0	0	0			
	期 末 一 時 扶 助 費	11	5	6	0	0	0	11	5	6	0	0	0			
	採 暖 費	95	54	41	0	0	0	95	54	41	0	0	0			
	就 職 支 度 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	幼 稚 園 費	84	0	84	0	0	0	84	0	84	0	0	0			
	乳 幼 児 加 算 費	234	0	234	0	0	0	234	0	234	0	0	0			
緊 急 一 時 保 護 委 託 料	1,013	327	686	0	0	0	1,013	327	686	0	0	0				
計		10,108	7,065	3,043	0	0	0	10,108	7,065	3,043	0	0	0			
施 設 給 付 金		45,017	42,126	2,891	0	0	0	45,017	42,126	2,891	0	0	0			
そ の 他		0	1,013	▲ 1,013	0	0	0	0	1,013	▲ 1,013	0	0	0			
計		55,125	50,204	4,921	0	0	0	55,125	50,204	4,921	0	0	0			
合 計			70,427	64,026	6,401	191,683	199,421	▲ 7,738	262,110	263,447	▲ 1,337	0	0	0		

ウ 諸収入の内訳

(単位：千円)

区	分	令和５年度	令和４年度	増 減
雑 入	更生園作業収入	93	45	48
	実習生受入謝礼	121	63	58
	会計年度任用職員 雇 用 保 険 料	263	154	109
	共済保険料還付金	0	135	▲ 135
	保険等事務手数料	11	10	1
	私用複写機使用料	1	1	0
	公 衆 電 話 委 託 使 用 料	1	0	1
	自 動 販 売 機 設 置 負 担 金	5	5	0
	不 用 鉄 屑 当 売 払 い 金	21	0	21
	新型コロナウイルス 感染症見舞金	0	45	▲ 45
	建物災害共済金	59	53	6
	魚沼更生園 破損個所材料費	3	0	3
	電柱土地使用料	18	0	18
	調 査 委 託 費	0	5	▲ 5
合 計		596	516	80

(4) 歳出科目別内訳

(単位：千円)

（単位：千円）

区	分	令和５年度	令和４年度	増 減
議会費		50	21	29
総務費		35,316	102,670	▲ 67,354
	総務管理費	35,291	102,645	▲ 67,354
	1一般管理費	7,151	8,774	▲ 1,623
	2財産管理費	17,624	66,976	▲ 49,352
	3基金費	10,516	26,895	▲ 16,379
	財政調整基金	10,490	1	10,489
	施設整備基金	26	26,894	▲ 26,868
	監査委員費	25	25	0
	監査委員費	25	25	0
民生費		315,042	311,809	3,233
	児童福祉費	101,193	101,730	▲ 537
	1児童福祉総務費	88,434	89,206	▲ 772
	(人件費)	(76,991)	(78,240)	(▲1,249)
	2指導訓練費	12,759	12,524	235
	(扶助費)	(5,935)	(5,430)	(505)
	社会福祉費	213,849	210,079	3,770
	1社会福祉総務費	184,295	179,628	4,667
	(人件費)	(163,582)	(159,505)	(4,077)
	2支援費	29,554	30,451	▲ 897
	(扶助費)	(14,451)	(14,938)	(▲496)
公債費		39,827	39,891	▲ 64
償還利子	2,058	2,225	▲ 167	
償還元金	37,769	37,666	103	
歳 出 合 計		390,235	454,391	▲ 64,156

(5) 年度別の主な請負工事と購入備品

(単位：千円)

年 度	金 額	項 目
令和２年度	2,673	魚沼更生園管理棟トイレ改修工事
	1,518	魚沼更生園居室２室化改修工事
	1,287	魚沼更生園受水槽ポンプ入替工事
	1,199	魚沼更生園居室等エアコン更新工事
	1,177	魚沼更生園屋根裏コウモリ駆除対策工事
	814	業務用乾燥機入替工事
	482	体育館ＦＦ暖房機取替工事(２台)
	473	魚沼更生園コードレス電話設備増設工事
	406	魚沼更生園換気扇等更新工事
	210	魚沼更生園防犯灯、駐車場照明取付工事
	1,210	利用者外出用公用自動車購入費
	439	パソコン入替購入費(３台)
	57	３連スクリーン
	88	非接触型検知器サーモマネージャー 魚沼学園入替備品
	145	全自動洗濯機入替購入(３台) 魚沼更生園入替備品
計	12,178	
令和３年度	1,980	魚沼更生園居室２室化改修工事
	1,914	魚沼学園女子浴室改修工事
	1,298	業務用洗濯機入替設置工事
	1,045	魚沼更生園女子便所修繕工事
	704	魚沼更生園２階廊下照明器具更新工事
	99	柘植１０本伐根処理作業
	96	魚沼更生園観察室モニター取付工事
	64	木製ベッド購入費
	250	全自動洗濯機入替購入費(２台)
	442	パソコン購入費(３台)
	99	ファイル共有NAS入替購入
計	7,991	
令和４年度	59,950	魚沼更生園外部改修工事
	385	魚沼更生園居室エアコン更新工事
	517	職員室照明器具更新工事
	187	パソコン購入費(１台)
	326	ネットワークサーバ機器
計	61,365	
令和５年度	737	事務室及び園長室照明器具更新工事
	352	魚沼更生園居室エアコン更新工事
	769	魚沼更生園居室バリアフリー改修工事
	4,510	作業棟外部塗装工事
	1,650	バス車庫外部塗装工事
	2,585	プール塗装工事
	65	業務用炊飯器購入
	104	木製ベッド購入(２台)
	52	液晶テレビ購入
計	291	ロールカーテン付配膳車購入
	11,115	

(6) 組合費及び繰越金の推移

(単位：千円)

年 度	経常費分担金	建設費分担金	特 別 負 担 金	分 担 金 計 A	歳 出 総 額 B	歳出総額に占める 分担金の割合	前年度繰越金
H22	注 1 54,015	0	0	54,015	356,038	15.17%	7,350
H23	注 2 60,045	0	0	60,045	345,812	17.36%	5,683
H24	注 3 68,738	0	0	68,738	388,296	17.70%	20,964
H25	注 4 62,660	0	0	62,660	310,276	20.19%	23,264
H26	注 5 60,853	注 6 67,000	0	127,853	676,525	18.90%	42,898
H27	注 7 58,000	注 8 9,145	0	67,145	787,880	8.52%	61,566
H28	注 9 55,000	注10 2,853	0	57,853	278,313	20.79%	1,408
H29	注11 57,076	注12 2,888	0	59,964	286,632	20.92%	26,738
H30	注13 61,111	注14 23,644	0	84,755	317,422	26.70%	39,185
R1	注15 62,182	注16 40,112	0	102,294	369,507	27.68%	45,800
R2	60,000	注16 40,017	0	100,017	384,430	26.02%	26,053
R3	60,000	注16 39,954	0	99,954	388,640	25.72%	40,507
R4	60,000	注16 39,891	0	99,891	454,391	21.98%	24,660
R5	60,000	注16 39,827	0	99,827	390,235	25.58%	9,190

- 注 1 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分2,015千円を含む。
注 2 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,045千円を含む。
注 3 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,738千円を含む。
注 4 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,660千円を含む。
注 5 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,853千円を含む。
注 6 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
注 7 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,054千円を含む。
注 8 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
注 9 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,114千円を含む。
注 10 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
注 11 新潟市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,076千円を含む。
注 12 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
注 13 新潟市（組合構成団体外）より管外児童分1,111千円を含む。
注 14 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
注 15 新潟市・長岡市（組合構成団体外）より管外児童分2,182千円を含む。
注 16 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。

(7) 基金積立金の状況

(単位：千円)

項 目 別	令和4年度末残高	令和5年度中増減		令和5年度末残高	備 考
		積 立 額	取 崩 額		
施 設 整 備 基 金	104,917	26	10,610	94,333	
財 政 調 整 基 金	55,538	10,490	26,300	39,728	
計	160,455	10,516	36,910	134,061	

(8) 地方債現在高の状況

(単位：千円)

発行 年度	区 分	令和4年度末 現在高	令和5年度					借入先	借入利率	その他借入条件
			発行額	償還金			年度末 現在高			
				元金	利子	計				
26	社会福祉施設 整備事業	90,482	0	7,254	621	7,875	83,228	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	施設整備事業 (一般財源化分)	120,912	0	10,076	592	10,668	110,836	新潟県市町村 振興協会	0.5% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	社会福祉施設 整備事業	97,151	0	7,464	667	8,131	89,687	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	施設整備事業 (一般財源化分)	124,410	0	9,570	122	9,692	114,840	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	社会福祉施設 整備事業	2,240	0	172	15	187	2,068	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	施設整備事業 (一般財源化分)	42,042	0	3,234	41	3,275	38,808	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
計		477,237	0	37,770	2,058	39,828	439,467			

(9) 決算の特徴

歳入について

歳入総額は 408,764 千円となり、前年度決算額（463,581 千円）対比 54,817 千円（11.8%）の減額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 1 款「分担金及び負担金」関係

1 項 1 目の市町分担金については、経常費分は前年度と同額で増減はありません。

魚沼学園建替工事に伴う施設整備事業費分担金については、起債の元金償還が進行していることから対前年度比で 64 千円の減額となりました。

2 項 1 目の児童福祉費負担金は、入所利用者及び短期入所利用者の増により利用料及び給付費が増額となり、日中一時支援事業においては区分重度の利用者が増えたため、全体で対前年度比 1,479 千円の増額となりました。

2 項 2 目の社会福祉費負担金は、新型コロナウイルス感染防止による帰省の制限を緩和したことに伴い施設入所支援介護給付費、負担金が 7,338 千円の減額となりました。在宅の生活介護、短期入所利用に係る給付費、負担金は 399 千円の減額、社会福祉費負担金全体では対前年度比 7,737 千円の減額となりました。

② 2 款「県支出金」関係

県支出金は、委託金、給付金は児童の入退所の変動により入所児童数が増えたことにより対前年度比 4,921 千円の増額になりました。

③ 5 款「繰入金」関係

今年度は、財政調整基金 26,300 千円、施設整備基金 10,610 千円の繰入れを行い、38,040 千円の減額となりました。

④ 6 款「繰越金」関係

前年度決算において基金への積立てを行いました。前年度比では 15,470 千円の減額になりました。

⑤ 7 款「諸収入」関係

雑入については、魚沼更生園作業収入 48 千円の増額のほか、電柱土地使用料、不要鉄くず等売り払い収入などにより、全体として 79 千円の増額になりました。

歳出について

歳出総額は、390,235 千円となり、前年度決算額（454,391 千円）対比 64,156 千円（14.1%）減額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 2 款「総務費」関係

1 項 1 目の一般管理費において、システム関係の手数料の減額や新型コロナウイルス感染予防対策の関係経費が減ったことにより対前年度比 1,623 千円の減額になりました。

1 項 2 目の財産管理費において、需用費で GHP 空調機、ボイラー劣化部品交換などの修繕料がかかったほか、工事請負費で、作業棟外部塗装工事費、4,510 千円、プール塗装工事費 2,585 千円、バス車庫外部塗装工事 1,650 千円を含む 6 件の工事、また、業務用炊飯器 65 千円を執行しました。

1 項 3 目の基金費では、前年度の繰越額を含む 10,490 千円を財政調整基金に積増し、施設整備基金に利子分の積立として 26 千円積増しました。その他事務的経費の支出抑制に努めた結果 2 款全体では、予算現額に対して 1,059 千円が不用額となりました。

② 3 款「民生費」関係

1 項 1 目児童福祉総務費では、新型コロナウイルス対応が減少したことから職員人件費で 1,248 千円の減額、需用費、役務費では増額となりましたが、総務費全体では対前年度比 773 千円の減額となりました。

魚沼学園利用児童に対する飲食物費、日常諸費を含む指導訓練費は児童数が増えたことにより、235 千円の増額で 12,759 千円を執行しました。

2 項 1 目社会福祉総務費では、職員人件費で 4,077 千円の増額、魚沼更生園施設修繕料の増額等で総務費全体では対前年度比 4,667 千円の増額となりました。

魚沼更生園利用者に対する飲食物費、日常諸費を含む支援費は、新型コロナウイルス感染防止対策のための帰省が緩和された影響により 897 千円の減額で 29,554 千円を執行しました。

なお、利用児童、利用者に必要な備品としてロールカーテン付配膳車 291 千円のほか、木製ベッド（2 台）、液晶テレビの購入をしました。

③ 4 款「公債費」関係

魚沼学園建替事業の財源として、平成 26 年度及び平成 27 年度に発行された組合債の元金及び利子償還分 39,828 千円を執行しました。

第2 業務の概要と成果

1 入所児童・利用者の概況（令和6年3月31日現在）

(1) 入所児童・利用者の状況

魚沼学園【定員21／在籍14人】

ア 年齢別児童数

(人)

性別 \ 年齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	計
男	1						2	1	1	1		1						7
女											1	1						2
計	1						2	1	1	1	1	2						9

イ 学年別児童数

(人)

学年 \ 性別	小学部						中学部			高等部			未就学児	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男						2	1	1	1		1		1	7
女										1	1			2
計						2	1	1	1	1	2		1	9

ウ 障害程度（IQ指数）別児童数

(人)

区分 \ 性別	軽度		中度		重度		計
	61以上	60～51	50～41	40～36	35以下	IQ測定不能	
男			2		1	4	7
女		1			1		2
計		1	2		2	4	9

エ 入所理由別利用者数

(人)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
契約	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	7	151
措置	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
計	15	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	9	173

※ 主な合併症の症状

・てんかん ・情緒不安定 ・自閉傾向

魚沼更生園 【定員 40 人／在籍 40 人】

ア 年齢別利用者数

性別 \ 年齡		(人)																									
		20	21	25	28	36	37	38	39	43	44	45	46	47	48	49	50	52	53	54	56	58	60	63	65	68	計
男		2	1	1	1	1	1	1		1	3		4		2		2	1		1	1	1				1	26
女					1		1		2		2	2	1		1			1	2	1							14
計		2	1	1	2	1	1	2	1	2	1	5	2	5		3		2	2	2	2	1	1			1	40

イ 障害支援区分認定別利用者数

							(人)
	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男		1	1	5	10	9	26
女			1	5	5	3	14
計		1	2	10	15	12	40

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん
- ・ダウン症
- ・自閉傾向
- ・情緒不安
- ・身体障害
- ・難聴
- ・橋本病
- ・痛風
- ・脂質異常症
- ・アトピー性皮膚炎

(2) 市町別在籍者数

市町 区分		長岡市		小千谷市	十日町市	南魚沼市	湯沢町	津南町	魚沼市	構成市町外	合 計
		旧山古志村	旧川口町								
魚沼学園	男			1	2	2			2		7
	女				1				1		2
	計			1	3	2			3		9
魚沼更生園	男		2	5	1	8			10		26
	女	1		6		3			4		14
	計	1	2	11	1	11			14		40
合 計		1	2	12	4	13			17		49

(3) 入退所の状況

魚沼学園

	発生年月日	男女別	発生時 年齢	出身市町	備考
入所状況	令和5年4月1日	男	17	十日町市	
	令和5年6月1日	男	5	十日町市	
退所状況	令和5年4月30日	男	14	魚沼市	
	令和6年3月2日	男	18	南魚沼市	
	令和6年3月25日	男	18	十日町市	
	令和6年3月25日	女	18	十日町市	
	令和6年3月27日	男	18	南魚沼市	
	令和6年3月28日	男	18	十日町市	
	令和6年3月29日	男	18	津南町	

魚沼更生園

(人)

	発生年月日	男女別	人数	発生時 年齢	出身市町	備考
入所状況						入所なし
退所状況						退所なし

(4) 月別利用者数

(人)

施設 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
魚沼学園 定員21人	15	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	9	173
魚沼更生園 定員40人	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
計	55	54	55	55	55	55	55	55	55	55	55	49	653

2 短期入所事業・日中一時支援事業の状況

(日)

施設 \ 事業名	短期入所事業	日中一時支援事業	延計
魚沼学園 利用延べ日数	501	2,134	2,635
魚沼更生園 利用延べ日数	243	0	243
計	744	2,134	2,878

3 職員の状況（令和6年3月31日現在）

（人）

配 置 施 設	正 職 員												会計 年度任用職員	合計
	園 長	庶務課			指導・支援課							計		
		課 長	係 長	主 事	課 長	課 長 補 佐	係 長	児 童 指 導 員	保 育 士	生 活 支 援 員	看 護 師			
魚 沼 学 園	[1]	[1]	1	[1]	1		1	1	4		1	9	4	13
魚沼更生園	1	1	[1]	1	1	1	1			14	1	21	13	34
計	1	1	1	1	2	1	2	1	4	14	2	30	17	47

* 『[]』は兼任を表し、合計値には反映しない。

* 正職員数には休職職員を含み、会計年度任用職員数には一時的雇用及び短期労働者を含

4 施設運営・支援の概要

(1) 施設運営について

① 魚沼学園

福祉型障害児入所施設として、今年度は入所定員 21 人に対して 14 人でスタートしました。年度中に 1 人の入園と 6 人の卒退園があり、年度末には 9 人の在籍となりました。内訳は、措置児童 2 人、契約児童 7 人です。

また、在宅の児童の支援として日中一時支援事業と空床型短期入所事業を行いました。

② 魚沼更生園

指定障害者支援施設として、今年度は入所定員と同じ 40 人でのスタートとなりました。年度途中の入退所は無く、年度末の入所者は 40 人となっています。

また、在宅の方の支援のため空床型短期入所事業及び空床型通所生活介護事業を行いました。

(2) 利用児者の支援について

利用児者に対する支援サービスについては、魚沼学園では児童発達管理責任者、魚沼更生園ではサービス管理責任者を中心として、利用児者の意向、適性、障害の特性、保護者の希望やその他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づく支援サービスを提供しました。

また、5 月から新型コロナウイルス感染症は 5 類移行となりましたが、サービ

スを安定的に継続するための様々な制約がある中で、利用児者が楽しめるよう工夫を凝らした活動を行いました。

なお、サービス提供中の利用児者の状況変化に対応するため期間を定めてモニタリングを実施し、支援内容等の見直しを行いました。

こうした取組を通じて、安心して生活できる環境づくりを進めるとともに、利用児者の状態に即した支援の提供に努めました。

(3) 関係機関や地域との連携

施設運営にあたっては、県の関係機関（障害福祉課、児童相談所等）から指導や情報提供を受けるとともに、構成市町の福祉関係課、相談支援センターの他、知的障害者福祉協会などの関係団体や県内の同種施設等からの情報収集を行いながら連携の強化を図り、サービスの質の向上や利用児者の満足度の向上に努めました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、魚沼学園・更生園の保護者会総会や多くの行事が開催できませんでしたが、保護者の皆様からアンケート調査・機関誌の発行・お楽しみ会への景品の提供等の様々なご協力をいただきました。

魚沼学園では、入所児童が通う小出特別支援学校との情報交換を行い、より良い支援が行われるよう努めました。また、卒業後の進路について関係機関等と連携するとともに、必要に応じて関係者会議等で検討を行いました。

短期入所、通所生活介護事業及び日中一時支援事業は、利用希望者のニーズに合わせたサービス提供ができるように相談支援センターを中心に情報共有や関係者会議を開催しました。

地域との連携については、様々な場面でのボランティア活動の受入、地元十日町区の施設強化委員の方々の総合避難訓練への参加、地域のイベント等への利用児者の参加、利用者の作品の展示即売等を通じて地域の人たちとの交流を深めながら障害児者への理解を求める活動にも取り組む予定でしたが、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症防止のために外部の方々との交流の制限を継続しなければならぬ状況となってしまいました。

5 今後の課題

(1) 中期運営計画について

組合運営の基本的な計画として、本年度から令和9年度を期間とする第2期中期運営計画を策定しました。今後、国の福祉施策の動向や社会環境の変化に柔軟に対応していくために、必要に応じて検証と見直しを行いながら、計画に即した施設運営と体制強化を図ります。

(2) 安定した施設運営とサービスの質の向上について

当組合では、退職職員の補充を非常勤職員等で対応していた時期が続いた結果、年齢の偏り等による組織の弱体化、短期間での職員の入れ替わりによるサービスの質の低下等が懸念される事態となっておりました。現在でも職員の約3割を会計年度任用職員が占めており、人材確保が非常に厳しい状況の中で安定した施設運営とサービスの質の確保・向上のために計画的な職員採用とキャリアに応じた研修の機会の確保が重要となっています。

(3) 施設の老朽化対策

本年度は、痛みが目立つ作業棟・プール・車庫棟の塗装を行いました。更に計画的な施設改修を継続する必要があります。

また、魚沼更生園は建築から40年が経過しており、基本的に4人部屋といった設計思想の古さに加え、利用者の加齢や重度化に伴うバリアフリーの推進や安全対策等も検討していかなければなりません。

今後は地域包括ケアをはじめとする制度の動向等も勘案しながら、施設運営の方向性を検討する必要があります。

(4) 組合構成市町からの財源負担等について

魚沼学園、魚沼更生園とも、公立の一部事務組合施設であるため、給付費の算定において一般の社会福祉法人より減算されており、収支の不足については組合構成市町からの分担金で補わざるを得ません。また、令和17年度までは魚沼学園建替事業に係る起債の償還も続きます。

このため、サービスの質の確保と効率的な施設運営といった全体のバランスに配慮しながら、過度な財政負担を避けていく必要があります。